

## 住民と議会の意見交換会（東郷地域）

日時 令和元年11月22日

午後7時2分～8時49分

場所 中央公民館

○河田議会運営委員会委員長 皆さん、こんばんは。本日は令和元年度住民の皆さんと議会の意見交換会を開催いたしましたところ、大変お忙しい中御出席いただきまして誠にありがとうございます。本日、進行を務めます議会運営委員会委員長の河田でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

泊地域15日から始まりまして19日が羽合地域、本日が最後となります東郷地域の意見交換会となります。限られた時間の中ではありますが、皆さんと有意義な意見交換ができたと思います。日頃思っておられますことなど、どうぞ御遠慮なく発言していただきますようよろしくお願ひ申し上げます。

それでは、開会に当たりまして入江議長より御挨拶申し上げます。

○入江議長 皆さん、こんばんは。ことしで第7回となります令和元年度住民と議会の意見交換会を開催しましたところ、皆様方におかれましては昼間のお仕事等でお疲れのところこうやってお集まりいただきましてありがとうございます。今、委員長からありましたようにことしは15日から始めました。泊、羽合2カ所終わったところですが、それぞれが例年よりちょっと参加者が少なくて残念に思っていました。きょう東郷に来て久しぶりに10人を超える方に来ていただいて嬉しく思っております。

先ほどもありましたように限られた時間ではありますが、皆さんから忌憚のない意見をいただきたいと思っています。

冒頭お話しましたように、5月1日から御代替りということで令和という年になりました。この間、大嘗祭が終わって今、伊勢神宮のほうにお参りいただいているということもありまして、ほぼそういうことが終わると御代替りの式が滞りなく終わるんじゃないかと思うところでもあります。例年47都道府県で地域ごとに各町村を回しながら献上米を送りますけども、ことしは湯梨浜町が当番ということで泊の原の藤井さん御夫妻が奉仕者ということでコシヒカリをこの間10月に献上されたということでありまして、そういうことからしても、ことしは湯梨浜もそういう大嘗祭こういう記念すべき年にかかわらしてい

ただいたんじゃないかなと思うところであります。

先ほども言いましたように限られた時間であります。いろんな懸案もありますけども、皆様方からいろんな意見、提言等を含めていただいて、議会の中でそしゃくし、また皆さんのほうにその報告をしながら、政策を住みよい湯梨浜をつくるために一緒になって進めていけたらと思っておりますので、どうぞよろしく願います。

○河田議会運営委員会委員長 議員より各自自己紹介をさせていただきます。

〔 議員自己紹介 〕

○河田議会運営委員会委員長 それでは、日程報告を寺地議会運営委員会副委員長よりお願いいたします。

○寺地議会運営委員会副委員長 （資料の説明）一番最後に、議会、行政に対する意見、提言という格好で記入いただくような用紙がつけてあります。これにつきましては、意見、提言のときにいろいろ御意見をいただければと思うのですが、差し障りのあるようなこともあろうかと思えます。その点につきましては、こういった形で後ほどお帰りの際に受付のほうに箱を用意しておりますのでそちらに入れていただければと思います。

また、言い足りないということがございましたら、この用紙に書いていただければ、また、議会広報等で我々も検討いたしまして、お返しをするということにしておりますのでどうぞよろしく願います。

○河田議会運営委員会委員長 そういたしますと、もう一度確認させていただきます。各委員会の報告が全て終わった後に質疑をお願いいたします。なお、答弁に関しましては議長並びに担当の委員長が答弁をさせていただきます。

それでは、これより議会報告に入らせていただきます。総務産業常任委員長より報告をお願いいたします。

○浦木総務産業常任委員会委員長 総務産業常任委員会として3本の報告をしたいと思います。1本は水道ビジョンについてということ、2本目が農業振興についてということ、これは東郷だけの報告という格好になりましたけども東郷池の水門についてと。この3本を報告させていただきたいと思えます。

はじめに、資料1ページ、2ページ水道ビジョンについてということですけども、見ていただけたらいいかと思えますけども、水道につきましては昨年も報告させていただきました。ことは中間報告といいますか、今現在どうなっているのかということも含めた報告になるかと思えます。

私、この水道ということにつきまして3本の大きな柱があると。その1本は安定した供給、要するに水道の水が枯れてなくなってしまうとかそういうことがないような、あるいは安全な水を供給すると。それともう一つが安価で安い料金での水道を提供すると。私はこの大きな3本柱だと思ってますけども、安定した供給ってということにつきましては、以前は羽合のとき5、6年、もっとになりますか、水が濁水して非常に困ったときがありました。そのときに倉吉に水をわけてもらえないだろうかと言いましたけども、そのときは断られました。でもやっぱりまたそういうことがあったら大変だということで、粘り強く町の行政のほうも倉吉と交渉して倉吉からの水の供給ということが現実的になって、もう工事はほとんど終わりました。

もう1本は、泊の筒地という山のほうのところなんですけども、ここも一本でずうっと水道があがるとるんですけど、その一本が破裂や故障を起こしたときには完全に筒地地区は断水してしまうというようなことで、だったらどこからか供給してもらう必要があるということで、鳥取市のほうから供給してもらうような手続きも済んで、工事もほとんど済んだかと思えます。

それから、以前からあっとります佐美のほう、倉吉から東郷に供給しておりましたけども、これは佐美のほうのところ、あそこで供給と。だから3カ所は確実に水の供給で何かで不具合が起こってもカバーできるというようなシステムに今なっとります。

それから、安全ということは今現在もいい水、浄化しなくてもすむようないい水というようなことで井戸堀を1カ所、2カ所やっていますけども、なかなか水量的に適用するようなどころが見つからないということで、今中断しとるといいますかそういう状態にあります。

それから、安価な料金ということにつきましては、これは安価というよりも去年説明させていただきましたが、人口減になって水の供給の量が少なくなると同時に、今布設してある給水管これが老朽化して今度配管替えをしなくてはならなくなってくるというようなこと。経費はかさんでくる。それに反比例して水道を求める人口のほうが減ってくる。そういうことになった場合、経費はどういうぐあいにカバーしたらいいかとなったらどうしても何らかの形で料金に反映せざるを得なくなる場合もあるんじゃないかと思えます。ただ、この件につきましては料金検討委員会というのを設置してどうかということをするようになっとります。だいたい以上が水道ビジョンです。

次に、農業振興（地域特産物）ということですが、この農業振興ということとはきょう持

ってこさせてもらいましたけども、きのうの日本海新聞で梨苗の定植が始まると。これ梨団地、松崎の駅裏といいますか駅南のほうに梨団地というのをつくって植栽を植えるということがこの間行われたということです。

これは、一つには梨農家が減りつつあるということ、それをカバーするには梨は剪定、交配とかいろんな手間がかかると、そういう手間のかからないような梨を植えて若い人とかそういう人に梨に興味をもってもらおうと。後継者になってもらうというようなことが大きな目的です。

そういったことを踏まえて我々総務産業常任委員会もことしのはじめ2月ですけどもJAの果実部いますか、営農センターと意見交換やりました。向こうは各生産部長、こちらは総務産業常任委員会の委員6人と、約1時間、2時間程度意見交換やりました。その中でもやっぱり梨農家の各部会、苺、メロン、梨とか部会がありますけども、その大きな意見というのは後継者、若いもんを育ててほしいというような意見が多く出ました。そういうことを踏まえてこの梨生産団地の今後の運営といいますか、あり方というのは非常に興味をもちとります。梨のそれにかかわられるというのは、我々が初め聞いたのは7人の方が定植の中に入っていくということだったんですけど、きのうの新聞では8名ということになっています。要するに1名ふえた。大変私はいいことかなというふうにだんだんふえていくということはいいことかなと思ったりします。これが成功裏に終われば、またちがったスタイルの梨生産というのもできるんじゃないかと感じは持ったりします。

次に、3番目の東郷池の水門についてということでございますけども、これは東郷は御存じの方も多いかと思いますけども、東郷池が水位が高くなって特に松崎のあたりですか、道路が冠水してしまうというようなことが何回も起るとということで地元の方もなんとかしてほしいということのを要望されて、県もそれに応えて堤防を場所によって違いますが50センチ、70センチそれくらいかさ上げするというので工事もほとんど終わったかと思えます。工事場所というのは東郷湖羽合の公園のところから養生館のところ。その範囲を堤防を上げるということのを県が取り組んで、今ほとんど多分その工事終わります。ただ、堤防を上げたはいいいけども今度、山から出てきた水なんかはどういうぐあいにはかせるんだと、堤防しちゃったらもう出ないんじゃないかというようなことがありまして、堤防をつくるのは県のほうの仕事なんで、今度、水門をつくって中のほうの水をはかせるということについては町のほうの自由だということで、今、町のほうもポンプを2カ所、1カ所は養生館のところの龍島のところに1カ所。それから、もう1カ所は新町川

この2カ所で、ただ龍島のほうのポンプのほうは基本設計も実施設計も済みました。後は工事にかかってやるということで多分、令和3年には完成するという事は聞いております。

ただ、新町川のほうは、まだ基本設計ができるかまだ微妙なところで、かなり遅れております。というようなことで、この金額とかいろんなところの分というのはまだ検討中と思っていただいたほうがいいかと思えます。

ただ、一点だけ気がかりなのは維持管理費です。この2カ所のポンプ場を維持管理しようと思ったら年間約3,000万かかるというようなことが試算として出とります。龍島のほうは1,000万近くですか、後はちょっとわからないところがあるんですけども、そういった経費がかかるというところもやっぱりきっちと考えながら、あまり経費のかからんようなやり方というのも必要じゃないかということで、まだ検討の段階のところもあります。

もう1点、我々が執行部に確認とらせていただいたのは、ポンプ。要するにポンプによって排水します、そのポンプの騒音ですよね。がらがらがらん音がしとったら寝れないと、うるさくてしょうがないというようなことでポンプの騒音のデシベルはどの程度かというような確認とりました。そしたら、町のほうもその辺は調べてきてくれとって、車の中で聞くエンジン音程度の65デシベルぐらいの騒音だと。まして、実際にポンプが動き出したら雨が降とったら戸も閉めておられる、だからほとんどポンプの音というのは気にならんだろうという説明がありました。その辺は我々も今後も注視しながら対応していきたいと思とります。

以上ですけども、この問題を細かくしゃべろうと思ったら10分、20分、30分かかりますのでおおまかなことだけを説明させていただきました。

○河田議会運営委員会委員長 続いて、教育民生常任委員長よりお願いいたします。

○浜中教育民生常任委員会委員長 資料の7ページを見ていただきたいと思えます。この総合センターどれみ&ゆるりん館ということで、このどれみのほうではいろいろやっておりますけど、看護師が常駐して気軽に来てもらったら健康相談等も受けれるようになっております。皆さんに利用していただきたいと思とりますし、ゆるりん館ですけど、裏をみていただきますといろいろ事業が書いてあります。下のほう、ゆるりん食堂がこのたびリニューアルしてオープンしとります。

また、月に一回ですけどみんなの食堂。みんなの食堂といいますのは、こども食堂プラス大人も利用してもいいとなっております。こういう総合センターどれみ&ゆるりん館

を皆さんに利用してもらって価値が上がってくるものだと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

続いて、9ページ、10ページを見ていただきたいと思います。まず、最初に10ページのほうからを見てもらってもいいでしょうか。簡単な表になつとります。平成30年度の疾病分類、一人当たりの医療費の推移という表が上のほうにあります。実線が県の一人あたりの診療費の総額。点々で書いてあるのが湯梨浜町の状況です。少し鳥取県の平均よりは少なくなつとりますが、下から二番目の新生物、がんでありますけど湯梨浜町は県の平均より多くなつとります。この理由について、ちょっとわからないんですけど早期発見でがんを発見して治療する人が多いのか、逆に手遅れっていったら変ですけど発見が遅れて治療に多額の費用がかかるのか、そういったことがあると思います。平均して湯梨浜町では高くなっています。

下の表ですけど、ピンクの棒グラフのほうは国民健康保険の被保険者数の推移であります。23年度から比べて30年度はかなり減ってきておりますが、一人当たりの診療費のほうは上の表ですけど、ぐんと上がってきとります。これで人数は減ってるんですけど一人当たりの診療費が上がつとりますんで全体ではふえてきてるような状況もあります。

そこで9ページを見ていただきと思いますが、医療費節約というのが課題になつとります。せ、選択しよう「かかりつけ医」、つ、続けて受けよう「特定健診」、や、やってみよう「生活習慣改善」、比べてお得「ジェネリック医薬品」。全部は読みませんが、これらのことに気をつけていくと医療費も少し下がってくるのではないかなということがありますので、どうかよろしく願いいたします。

○河田議会運営委員会委員長 続きまして、議会広報常任委員長より報告をお願いいたします。

○米田議会広報常任委員会委員長 議会広報常任委員会のメンバーは議長以外の議員11名でやつとります。2つの班に分かれて交代交代に編集をやっておるんですけど、年定例議会が4回ありますのでそれにあわせて議会だよりも4回発行させていただいております。

内容は、定例議会だけに限らずなるべくこの11ページにあるように議会だよりにしかない情報載せるという形で全員協議会とか常任委員会とかということで、中でも皆様にお伝えしなくっちゃいけないようなことは議会だよりに載せるようにしております。毎年いろいろ研修はしておるんですけど、実際に議会が終わってから発行するまでの期間があ

まりなくて、本当になんとか発行というような形のところでまだまだ皆さんに読んでみたくなるような紙面ということが編集理念であります。もっともっと頑張らなくちゃいけないなと思っております。今後も皆さんで意見がありましたら声をかけていただければありがたいと思っております。

○河田議会運営委員会委員長 続きます、中学校等跡地利用検討特別委員長より報告をお願いいたします。

○上野中学校等跡地利用検討特別委員長 資料12ページに北溟中学校の航空写真、13ページが東郷中学校の航空写真を載せております。これは、本年度7月17日から26日の間で行われましたサウンディング型の市場調査の結果をもとに表のほうでまた後で説明させていただきますが、まずここに至るまでの途中経過をかいつまんで御説明させて報告させていただきます。

まず、行政のほうの歩みですが、昨年5月30日に第1回の学校跡地施設利用検討委員会が開催されました。そこで19人の委員の方が構成されて、そこで委員長、副委員長等が互選されそこから今日に至るまで報告書を作成するまでに計5回の委員会が開催されまして、昨年11月最終的な協議、検討内容がまとめられて報告書が提出されました。議会には昨年12月10日に報告がございました。その報告書の概要ですが、まとめにあたりましてその委員会では北溟、東郷両方とも一つの利用法に集約して断定することが難しかったという形で締められておりました。

北溟中学校に関しましては、土地の利便性から民間活力の活用が望まれると。東郷中学校の関係では、その自然環境からも公共性のある施設利用が望まれるという形で答えて終わりました。

その後、行政内部での検討で詳しくどういう格好でこの土地を活用しようかというようなことが検討されました。そのまとめが現段階では当初説明しましたが12ページ、13ページのサウンディング調査の結果です。

議会の流れですが、昨年の9月定例会で中学校等跡地利用検討特別委員会というのが設置されて中学校跡地だけで限定せずに町有地全体を捉え、有効活用に向けて検討しているという形で立ち上げられました。そして、昨年12月26日に第1回の検討委員会を開催しまして執行部との意見交換を行い、その中で回答があった中では当初の執行部の予定では本年6月に方針を決定して9月ごろには具体的な活用方法の決定、そして9月定例会に予算を計上したいと。そして10月には売却に向けて公募等を行いたいという説明が

ございましたが、今現在はそこまで進んでおらず、ちょっと遅れ気味になつとります。

そして、12ページ。13ページのサウンディング調査ということで5つの事業者から提案がございました。ということで表に北溟中学校、東郷中学校の4つのポイントが載せてあります。12ページの北溟中学校に関しましては、一つには商業施設がいいんじゃないかと、2つ目には商業施設であったり福祉施設、あるいはこども園、体育館などの町有施設などの多種機能を併存させた複合施設がいいんじゃないかと。そして、3つ目には加工場を併設させたマルシェ市場型をそこにつくるがいいんじゃないかと。4つ目が働きながら健やかさを取り戻していく最先端通信環境と体験型の各種プランも用意した宿泊施設といったものがないんじゃないかという4点の提案がございました。

そして、東郷中学校に関しましては3番目、4番目は北溟中学校と同じ内容ですからそれは省きます。1点目が海外の子どももターゲットにしたスポーツ施設、あるいは合宿施設、学習施設を併設した複合施設がいいんじゃないかと。2つ目が教室の一室を利用して、龍踊りの活動の歴史を残し後世の子どもたちに引き継ぐ伝統芸能に発展させるため、龍やその他の小物の保存・展示を兼ねて今までの活動写真やパネルを展示するといったような文化的な活動に使うことが望ましいんじゃないかという5つの事業者からの提案がございました。

今後、どういった流れになるかということは、まだはっきり決まっておりませんが執行部のほうがその後、業者等と選定等進めていくと思われれます。

その状況を議会は見守りながら、ある程度進行があつて報告があつた時点でまた議会のほうも動いていこうかなという形で、現在情報待ちというような状況でございます。

○河田議会運営委員会委員長 そうしますと、各委員会より報告が終わりました。この報告に対しまして、質疑なり御意見なりございましたら挙手をお願いいたします。

○住民 区民の方から浸水対策で問い合わせがあつたんで、ひとつお話を聞かせてやってください。

ポンプで内水対策をされるということだったんですけど、ポンプってのは湖岸に近いところなんですけど、区で浸水が起こるところとして、わりと県道沿いの青線っていう水路対策について区民の方から問い合わせがありまして、旭区には何本か過去に使われた公共の今は使われてない水路があるそうなんです。そこからずっと池に流れているそうなんですけど、ちょっときょう写真で資料をつくってきました一つ。このあたりが水が溜まるそうなんです、県道沿いなんですけども。ポンプからちょっと離れてるとこなんでこれに対する

対策がどうなのかということと、この青線が県道の下から湖畔公園という水郷祭がある公園の中を歩いていてるんですけど、底が詰まっていることで水が溜まりやすいんじゃないかという問い合わせがあったんで、それに対する対策があるのかということをお願いします。

○入江議長 ありがとうございます。水路の今の現況については、はっきりいいますとまだ確認はできていません。ただ、今計画されているのは内水対策の中のポンプというのは、水路から表面水だとか水路から流れてきたものを一度釜場のような大きな水槽をそこに設けて、1回そこに水を集めてかさ上げした堤防の上から湖面のほうに排水していくというやり方を今計画をしているということです。これは龍島の場合ですね。

新町川については、この間基本設計が出ました。御存じのように新町川は結構水路も広いですし、パニーニさんがあって、それからあそこは漁業者の漁港というか船溜まりみたいなのところもありますので、あの辺との兼ね合いだとかその辺の調査も含めて基本設計がされているんじゃないかなと思っています。

今、お話がありましたように冒頭に言いましたけども、この水路の詰まりぐあいであったりだとか、その辺は私どももまだちょっとよう確認してませんので、その辺については所管の建設水道課等で確認をして、どういう状況で調査が本当で行われてるのかどうか、状況を把握してるかどうかということを確認してみたいと思います。我々も、それに伴って勉強もしてみたいと思いますので、今御指摘のあったことを所管の総務産業常任委員会を中心に行政のほうと確認作業をし、もしそういうことがあるのならば一緒に改善できるような方向に進めていくのがいいんじゃないかなと思っていますので、また報告させていただきます。

○住民 当初、考えてなかった質問ですけど、この内容に関してなんですけど、新生物の話が出たんですけど、県と湯梨浜町の寿命の差ってありますか、新生物に関して。新生物っていうのは、高齢になれば出る病気ですから。もし、湯梨浜町の寿命が長ければ県よりも新生物が多くて全く問題ないです。

○浜中教育民生常任委員長 そこまでは調査してません。ただ、県が違ったりするとある程度平均寿命の差が出とりますけどね、同じ鳥取県だけあんまり変わらんじゃないかなと個人的には思っています。

○住民 あと特定健診で減らすということなんですけど、私ちょっと分野は違うんですけど特定健診に行く人ってそもそも健康に意識が高い人なので、こういった病気っていう

のは健診に行かない人から出ます。なので、公衆衛生の予防の観点からは歯科の面ですごく成功してるんです。ちょっときょうは提出資料持ってきたんですが、環境にアプローチすることで健康維持するような環境をつくることで健康をつくっていくというほうが有効とされています。健診というのは、ハイリスクアプローチというんですが、そうではなくて全体に対して環境を変えて、例えばタバコを吸うところをコントロールするとか、糖分のコントロールであれば糖分の取るものの、ジュースなんかでも糖分の入っているジュースは10円高くするとか、そういった環境を変えることで糖分の取り方を変えるようなことが有効とされています。提案ですけど。

○浜中教育民生常任委員長 高度な技術…。

○住民 例えば、今度4月から公的などが全部敷地内禁煙になったりしますよね。ああいった環境整備のほうが有効とされてます。個人に対するアプローチより。

○浜中教育民生常任委員長 ただ、ここに書いてあるのは特定健診のことが書いてありますけど、健康に皆さん気をつけましょうという意味の特定健診ぐらいで考えてもらったらええのかなという思いがあります。全然健診なんか受けられない人も結構おられますので、年に1回くらいは健診受けて自分の体の状況がどうなってるかな、血压ちょっと高めだとか血糖値が高いよと言われたら気をつけようかなという気にはなってくるのかなと思もありますので、そういった簡単なことが書いてありますんで。

○河田議会運営委員長 そのほか、ございませんでしょうか。

○住民 今の健診率をいかに上げるかというほうが問題であって、そこは今後のことですが、質問したいのは、12ページ、13ページの中学校跡地の話で、私はこれの検討委員会の委員長をやったものですから、やっぱりどうなっていくのかなと非常に興味があるので、御質問したいのは、この4つのこと事業者の提案がという御説明ありましたよね。その事業者とはどういう方々なんだ、どんなふう選ばれたのかなっていうそこだけ教えてください。

○入江議長 事業者については、基本的には商業者が多かったです。一つは例えばスーパー系の方であったりだとかということがありました。

それから、ここに書いてあるように龍踊りとかなんかはその振興団体の方が提案をしておられた。それから、地元の酒蔵さんが提案されていたという感じです。

あとは具体的に言うのがいいかわかりませんが、チュウブさんといって指定管理を受けられながら東郷運動公園なんかを指定管理しておられるところが、人工芝にしま

したのでたくさん合宿等の方が来られるようになりました。その宿泊施設が少ないという事で、東郷中学校の後を利用して改造してそういう受け入れができるような体制にしたらどうかというような提案を現在のところにとられます。

○住民　そういうどれがどうという話ではなくて、どういうふうにその方々は公募してそういう意見が出てきたのか、なんかそこらへんの…。

○入江議長　公募でこういうやり方でどうですか提案してみられませんかということのをサウンディング型の市場調査ということで投げかけたら、それぞれの企業とか団体から私もこういう考え方を跡地を利用した考え方をしますよということで提案されたということであります。

○住民　そこら辺のプロセスが知りたかったもので。

○河田議会運営委員長　そのほか、ございますか。

○住民　案内をもらったときにぱっと読ませてもらったら東郷池の水門についてということが出とりましたんで、議員の皆さんも御存じのとおり門田の前の田んぼ、ずっと水がついとるような。私も定かではないですが耕地整理をしてから40年ぐらい経つとるでないかと思うんですけども、地盤沈下が進んでいるような感じをもつとるんですけども。

それと、水位の問題が東郷池の水位、海の水位その辺が温暖化等で上がってきてるのかなというそんなの関連もあるのかなと思つとるんですが、その海の水位とか池の水位とかが今上がってきてとるんですか、実際。最近の変化がわかれば。

○入江議長　具体的な数字についてはちょっとわかりませんが、間違いなく上がってきてると思います。今おっしゃるように門田地区、一部工事を道路のかさ上げもさせていただきまして、水路の工事一度ここ10年前くらいですか、からずっと区のほうから要望がありまして水路の改修もさせてもらった覚えがあります。ただども言われるように全体的に地盤が緩いと思いますので、沈下をしてるといのは間違いなことじゃないかなと思います。

○住民　それで区民の財産です、田んぼも。その辺か水没してしまうような10年先か20年先かわかりませんが、現在でも一年中水がついとるというような乾かんような田んぼも出とる状態です、その辺が耕地整理をすればまたよくなるじゃないかということも考えられますけど、今のコメの値段とかそういうことを考えていくのに地主がそういう負担をなかなかようせんと。それでこれからどういう、田んぼの利用方法というですかね、そういうことはどういう具合にしていったらええのか、自然に任せて池にして荒廢地にし

ちやって池になっていくのかなと今、区の人はそのような考えでおるんですが、何とか救済方法とかそういうもんを大局の面で考えてもらうことはできんでしょうかと思ひまして。その辺お願いします。

○上野議員 先ほどの温暖化の話ですが、実は今回一般質問で執行部のほうに聞こうと思ひてたんですけど。実はいろいろ調べてみると、ことしの6月に国連の温暖化委員会が、要するに温暖化による海水面の上昇の数値を変更したんです。これまで2013年のときに2100年までには1メートル上がるという予測をしておったんですが、今年の6月の報告では10センチ上がって1.1メートル上がりますよという警鐘を今鳴らしてるんですよ。それは何かというと2013年の国連の評価では、南極の氷山というのがあってほとんど9割方が氷山なわけです。上のほうばかり気にしておただけで今地球の海水温度が上がってまして、海水の温度によって下のほうに隠れとるほぼ9割方の氷山のほうが溶けてきている。それで10センチ早く上がりますよということが修正を受けて6月に国連が公表したわけですね。その件で、当然海水面が上がったら東郷池の水面も上がるという。2100年ということは、あと80年で最大値で1メートルも上がってしまう。それにプラス高潮という話が出てくるとかなりのもんが上がってくるんじゃないかという、そういうリスクが見えてきたわけですね。

それで今、田んぼの話がされましたが田んぼよりももっとものすごいリスクが考えられるわけで、それをわからなんだらいいですけど、でも世界地球規模での話がそういう形になっているんで、それに対して湯梨浜町の一自治体ではなかなか対処できる問題じゃないですけど、とはいいいながらほっとけん状態じゃないかということの問題提起しようかなという話を12月定例会で執行部のほうに私もサウンディングしようかなと思つてるんですけどね。そういう状況です。

○住民 わかりました。よろしくをお願いします。

○入江議長 海水面の話は今、補足があつて具体的な話をさしてもらつたと思うんですけども、先ほど言われましたようにどう維持していくんだというような話があつたと思ひます。やはりそれについては特に長江であつたり門田だつたりっていうのは、我々羽合地区の者から見ると集団化がきちんと図られていて今のところですよ、素晴らしいと思ひてます。やはり後継者、先ほど梨の話とか農業の話も出ましたけどやはり田んぼについても同じことだと思ひます。やはり集団化であつたりとか企業とかそういうところが入っていきながら耕作放棄地にならないようにしていくということしか今のところ手がないんじゃない

いかなと思っています。御存じのようにいろんな諸団体の補助金等も出とりますけども、そういうのを出しながら促しながら維持してもらおうという考え方を県、国と一緒にやりながら取り組んでいくしか今のところないかなと思っています。

耕地整理の話もされましたけど、なかなか今受益者負担と言いながらお金をこれから何十年も払っていくというのは大変なことだろうなと思っています、私自身も。そうなるときにどういう方法が本当にいいんだろうかと、意見をしてほしいという人があったとしても、全体を見まわしたらうちはお金を出してまでそんなことしてもらわんでもええということで意見がまとまらなかったら、なかなか集団化の中でそういう事業というのは図られないんじゃないかと思いますので、一緒になって課題解決に向けては我々も上部のそれぞれの県、国であったり陳情なりすることはしていきたいと思いますが、御意見等がありましたらまた教えていただければと思います。

○河田議会運営委員長 そのほか、ありますか。

○住民 細かいことで申し訳ないですけども、中学校の跡地利用ですけども、土地、建物に関しては何らかで利用されると思いますけど、今現状中にあるものですね。私はシルバークロスの絡みで草刈りとか行って外からのぞいて中を見させてもらったんですけど、中にあるものに廃棄という貼り紙がしてあったんですわ。見る人が見れば、何かまだかなり使えるようなものがある。全くゴミとしての廃棄になるもんかそれとも安価で売りに出すかなんかで皆にわけるとか、そういう扱いの廃棄なのか。そこら辺を教えてもらいたいと思っています。

○入江議長 所管の教育委員会からは具体的なことは聞いてませんが、今までの例からすると保育所などを建て替えたりしたときの場合から言いますと、そこで使っていた幼児用のイスであったりだとかそういうのを安価で希望のある方に払い下げられたというか、そういうことをやられました。今、御提案がありましたようにその辺は要らないものだよという感覚で貼っているのかどうかはわかりませんが、できれば利用価値があり、いる人についてはそういうふうに進めていくように聞いてみたいと思っています。

○住民 もし、安価の形で売りに出すようなことがあれば何らかの形でアナウンスして、皆さんにわかるようにしてもらえればと思います。

○河田議会運営委員長 実は、住民の方からそういった声がありまして私、教育総務課に問い合わせしてみました。そうしましたら小学校、保育園、それから公民館とか公共の施設でいるものがあれば優先的に持って行ってもらって、最終的に残ったものを募集をか

けてお譲りするっていうようなことで、それがいつになるんですかって聞いたんですけど、まだはっきり皆さんに募集をかける日にちまではわからなくて待ってくださいということ、やっぱりそういったことを気にしとられる住民の方もあって、またいずれなんらかの連絡があるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○住民 はい、わかりました。

○河田議会運営委員長 そのほか、ございますか。よろしいですか。

お時間も経過しておるので、次に移らせていただきます。

意見交換についてということで、これから松岡副議長に進行を交代しまして進めさせていただきますのでよろしく願いいたします。

○松岡副議長 今回は湯梨浜創生に向けてということで3つのテーマ、学校等跡地問題、生涯活躍のまち、災害関連について意見交換を行いたいと思います。時間の関係で1つのテーマ約10分ぐらいにしたいと思いますので、進行に御理解と御協力をよろしく願いします。

皆様方の御発言にあたっては最初に住所、氏名をおっしゃってから御発言をお願いいたします。回答は議長のほうでさせていただきたいと思っております。

それでは、1番の学校等跡地問題についてでございますが、このことについては先ほど上野委員長から旧北浜中と旧東郷中の跡地利用について報告があり、皆様方からかなり御意見、御質問をいただいたところでありますが、さっそくこのことについて意見交換に入りたいと思っております。資料は12ページ、13ページです。上野委員長からありましたけど、議会の特別委員会は両中学校以外の他の町有地の跡地利用についても検討をすることとしておりますので、これについても御意見、御質問がありましたらお願いいたします。

○住民 さっきの続きです。事業者の方からの提案というのは、その事業者の方は自分のところでやりたいという思いを持っておられるんですか。そこら辺はどうなんですか。

○入江議長 提案については、思いを持ってやられとるところが提案されたんだと理解しています。今後についてはわかりませんが、聞かれて御存じかも知れませんが、北浜中学校においては今まで北条は逃げてしまいましたけど泊村、羽合町、北条町の学校組合立の中学校でありました。ということは北条町、今の北栄町にも3分の1の権利を残したままの現状で、これがまだクリアされていません。これがクリアされないとその土地をどうするかということが前に進まないというのが大きなことです。現状を打破するため

には、まずそれを片付けてから次のステップを踏んでいくということになるのかなと思っていますし、会の中でもお話があったように町長含めて我々が認識しているのは今、校舎部分については、手狭になって老朽化になっているたじりこども園を新築移設して、それに関連するような子育て支援の支援センター的なものをしながらする。グラウンド部分についていろんな提案を受けた中での開発なり、そういうものに充てていくという考え方を今のところはしている、聞いているというところでありまして、ただ、冒頭に言いましたように北条との関係が早急にその辺の話ができていかないと進めようがないということと、もう一つは、179号線が田後を通ってはいわい長瀬を通って山陰道にタッチしていく。延伸の問題がありますので、それとの兼ね合いなんかも今後出てくるんじゃないかなと思いますので、その辺は県であったりいろんなところの情報をいただきながら我々も勉強し結論づけていきたいと思っています。

○住民 いずれにしても非常に大切な財産だと思うので、ただ、提案してやりたいところがあるというのはありがたいことだと一方では思います。僕、ほかのところもいくつかがかかわってるんですけど、なかなか提案が出てこないし、やりたいところって出てこないんですけど、そういうのがあっていうのは上手に利用したらいいなって思います。

○松岡副議長 貴重な御意見ありがとうございました。

そのほか、ございませんでしょうか。

ないようでしたら、次の議題に移らせていただきます。

次は、生涯活躍のまちについてでございますけども、資料は14ページ、15ページ、レークサイド・ヴィレッジゆりはまのパンフレットの抜粋を載せております。

今回は、このレークサイド・ヴィレッジ現在、長江に造成中でございますけども、この状況について説明をいたしますが、この生涯活躍のまち事業としてそのほか御当地、松崎駅前のコミュニティ施設ゆるりん館、どれみ、さらには泊地区の小さな拠点施設も含まれますのでそちらのほうも御意見がありましたらあわせてお願いをいたします。

それでは、14、15ページの説明です。14ページがレークサイド・ヴィレッジ開発事業の完成予想図でございます。

そして右側のほうが、このレークサイド・ヴィレッジ敷地が4ヘクタールありますけども、この利用方法について右側に載せております。右側の左半分A番号がついている区画があると思いますけど、A番号はこれが一般区画、一般宅地住宅の区画でございます、これが46区画あります。それでこれが今29区画予約済みでございます。

右側にS番号というので区画がくくってあると思いますけども、S番号が温泉付きの一般住宅区画でございます。ここの区画は21区画ありまして、9区画が予約済みだということでございます。それで全体としては67区画あるんですけども現在38区画、57%が予約済みだということでございます。

皆さん方も前を通られるので見ておられると思いますけど、大体完成しております11月中旬に完成予定、12月中旬に完成検査をして販売開始、引き渡しは来年の2月から行うという予定になっております。

そして、もう一つ区画の内容の説明なんですけども、この区画图の中の左側、上から順番にサービス付き高齢者住宅、町営住宅ゾーン、商業施設というのがあります。そして、右側が福祉ゾーンAということで、こちらにはグループホームを設置する予定です。それから下の福祉ゾーンB、Cにつきましてはリハビリテーション、デイサービス施設を予定しているということでございます。説明は以上でございますけども、皆様方のほうで質問、御意見がございましたらお願いをいたします。

○住民 松崎駅付近の居住とかの関してのことで、仕事とかで合銀によく行くんですけどその職員の方が、この辺で住むところを探したけどわかんなくて倉吉に住んでるというようなことをお聞きしたことがあります。合銀の職員の方で。もしかしたら空き家とかこういった住宅の情報とかがうまく伝わってないのかなっていうのを感じたんで、そういったのがスムーズいけばいいなと感じています。

もう1点としては、わりと新しい建物なので対象される方は子どもさんを持っておられる家庭の方とかをこういった新しい住宅地に呼ばれたいと考えておられますか。もし、それであるとしたら自分の仕事に関連するんですけど、湯梨浜町は教育総務課と健康推進課の関連でフッ化物洗口をやってるんですけど、今、実は湯梨浜町の12歳の虫歯というのは新潟県が日本で一番虫歯が少ないんですけど、それと同じレベルなんです。結構御存じない方多いんですけど。なので学校に行ってるだけで親にとって子どもの虫歯ってストレスなんで湯梨浜町、例えば倉吉と比べて学校に行ってるだけで虫歯が少なくなるような町というような健康維持できる町としてPRすることで、こういったところに子ども連れの方とかを誘致しやすくなるようなこともあるんじゃないかなと思います。そういった点をいくつか教えてください。

○入江議長 まず、若い人を中心に誘致というかそういうことを考えておられますかということでしたけども、特にそれを若い人という限定した考え方ではないと思います。

ここはもう手が離れて民間主導でありますので株式会社をつくって。そういうコンセプトだと思います。一応は連動してるところは我々と思いをしとるところはやはり県外からのアクティブシニアと呼ばれるような人を中心に移住定住していただきたいということが一番の目的だったように当初のコンセプトはですね、思っています。ただ、先生も行かれてみられてどうかわかりませんが、結構風光明媚でいいところだし本当に湖畔のところに家が建って水郷祭の花火の頃なんかとってもいいだろうなと私も思います。特に若い人に限定してそれを推進してるということではありません。

フッ化物洗口については、あれこれというよりも継続してやはり、せっかくだいい施策がある意味では展開してるので、それを継続発展するということを我々も一緒になってやれたらと思っています。

○住民 空いてる住宅を募集、住みたい方に伝わる、うまく伝わってないようなところの話も聞いたので。

○入江議長 地域おこし協力隊の一人を専任にしている、その方を中心に今言われるようなことをマッチングできるようなこと、仕組みはするべきだと思います。ある意味では拠点がどれみであったりすることもありますので、その辺を訪ねてもらったりだとか、まちづくり会社のほうに訪ねてもらったりすればその辺の情報提供、それからそれぞれの東郷エリアの利用してもらえそうなそういう住宅であったりだとか泊の住宅であったり羽合地区の住宅であったり、そういうのは少しずつ把握はしておられるようには聞いてますので、その辺を要望こういうところをこういうのがいいんだけどというのをいただければマッチングできるような形にはできるんじゃないかなと思っていますので。またよろしくお願いします。

○住民 町営住宅ゾーンがあるんですけど、ここどういふ人たちが入られるのかなと思って。というのは、松崎1区の町営住宅の人たちに関して言うと、そこに移るんじゃないかとかそういうはっきりしないことで皆が右往左往してるので何かその辺の町営住宅の入られる方、従来の兼ね合い、それは何か決められてるんですか。それともどんな状況なんでしょう。

○入江議長 我々が今、聞いている構想の中では上町等の住宅、多分古いところは36、7、8年ぐらいの住宅地区だったと思います。そうなる一度あの辺を整備するためにも、ここに町営住宅を建てて移っていただくという、それはそこに住まわれる方が移ってもいいですよということで初めて成り立つ世界ですけども、そういうところゾーンとしても用

意するというのも一つだと思います。先生おっしゃるように羽合地域にもそういう古いところもあります。また、泊でも老朽なところもありまして全体的な町営住宅のあり方っていうのは全体的に見直さなければいけないと思いますし、それから東郷地区は特に古いのであつて、やはり毎年毎年修繕費用がちょこちょこ出てるんですよね。そうであるならばやはり一括でそこを新築するような形。今は駐車場がないようなところは、なかなか町営住宅といえども入り手が無いといいますか、皆さんが利便性からいうとよくないのでせめて一戸に1台くらいのスペースが設けられるような住宅を建てるという構想を立て始めてますので、まだちょっと本当にここを動かしてここにこうするっていうところまでもうちょっといってないというのが現状です。でもやはりこれを進めるためにも早急にその辺は歩いていくべきだと思いますし、我々も行政と一緒に早くそういう部分が解消できるように住環境を整えて、皆さんに安心して住んでもらえるような町営住宅供給ができるようにしていきたいと思っています。

○住民 独り暮らしの高齢者の人が非常に多くなってきたんで、またいろんな意味で考えなくては行けない。

○松岡副議長 貴重な御意見ありがとうございます。申し訳ございませんけども時間が経過していますので次に移りたいと思いますけども、最初に申し上げましたように言いそびれた点や新たな御意見なり質問がありましたら、別添の議会行政に対する意見提言に記入してお帰りの際に受付のほうに提出をお願いいたします。

それでは、次の災害関連について入りたいと思います。災害は、ことしも9月に千葉市での強風被害とか10月には台風19号や低気圧により千葉県などの大雨災害など全国各地で自然災害が発生しています。本町では毎年防災訓練を実施したり本年3月に町の防災マップを改訂をしているところがございますけども、皆様の地区での防災訓練、あるいは自主防災組織を含めて皆様方のほうで何かお感じになってることがありましたら御意見、御提言をお願いいたします。

○住民 区長さんが先方、御質問出されたようですが、それに関連したことなんですけど、先回ゆるりん館で議会さんと話し合いしたときに私が提言したことなんですけど、区長さんのお話と関連しますがそのときの話を調査されたでしょうか、議会です。

○入江議長 調査というか梨団地の〇〇さんがいわれたのは、あそこの水路のところの横断の話をされましたよね。その話は調査をするようにというか所管の産業振興課に調査を求めて、その水路っていうのは今の梨団地の暗渠排水との兼ね合いであつたりだとかそ

の辺との兼ね合いはどうかということは調査ということはしました。そしたら、現状では改善というか何とかいいじゃないかということで現状でいいでないかなという話で所管の委員会からは回答をいただいたところです。線路側といいますか東側になるのかな、ぐらいに流れていくと思いますのでそれで解消できると思いますというような回答でした、そのときは。

○住民 私が言ってるのはそうじゃなしに、さっき区長さんが言われましたように、3本の用水が鉄道の下を通過して旭、龍島に流れてきとると。もう用水は必要ないからそれを止めてもらったら、そんな大きな水は出てこないじゃないかと。だから、そこらあたりを青線を調べていただきたいという意見だったんですけど。樹園地のほうじゃなしに鉄道の下を水路が通つとるんです。この間、松崎の旭区の人なんですけど家の下を通つとるのも1カ所あるんです。なんか大きな音がしたで開けてみたらその水路に穴が開いとるというような状態が起きとるようです。

○入江議長 家の下を通過する、そういう管があると。

○住民 用水です。駅前というか旭、龍島は水田だったんです。そのための青線が3本、池に流れてるんです。できればそれを止めていただければ、そんな大きな水が出ないんじゃないかなと。それで、先方も説明されたように新町川のほうに集中してもらえば、あそこ一本で大きな金をかけんでも先方3,000万だの1,000万だのと維持管理費がかかるようですので。その辺を先回は質問したんですけど。

○入江議長 わかりました。把握が十分でなかったのが調査といいますか、あれが十分でなかったかもわかりません。暗渠で抜けてるところの話もしましたが、今の話、3本あってってようなことも含めてそこがあるので大丈夫だというようなことで、ならいいんだなという認識でそこで終わってしまってますので、改めてその辺もう一回調べなおすといいますか、問い直していきたいと思います。ありがとうございました。

○松岡副議長 貴重な御意見ありがとうございました。そのほかございませんでしょうか。

○住民 先ほどありましたように3月に防災マップを配っていただいて、配りっぱなしになってるような気がして。区の反省なんですけど、むしろ地域の反省であれを使って講習会をやらんと意味がないなと思って。松崎1区、今度決算総会の際に町から来ていただいて1時間ほど講義をしてもらおうと思ってるんですけど。何かもうちょっと防災マップを活用しないと、この43ページもあるものをもったいないなと思うんで。それは

我々の問題でもあると思いますけども。

○入江議長 ありがとうございます。数年前から防災特別対策官を設置して自主防災組織も含めて、だいぶ我が町はできるようになり、あと3つぐらいの地域がまだ整備ができていないのが、と思います。今、区長さん言われたようにぜひともそういう方とか、お声をかけていただければ例えば町で至らないところがあれば県であったりだとか、そういうところの担当者呼んで一緒に講演なんかしてもらえるような体制はつくれると思いますので、ぜひとも皆さんに寄っていただいでみんなで共通理解ができるような機運を高めていただければなと思います。よろしく願いいたします。

○浦木総務産業常任委員会委員長 今の件で、5年前に防災マップ配られました。そのときがほとんど利用活用されなかったと。積んだまんまという経過がありました。そういうことでは、せつかくお金を払ってきちっと調べて防災マップをつくったんだしたら、それを活用利用するようなやり方をしてもらいたいということで行政には申し入れしました。そしたら町長が言われるのには、配布したのは5月です。その配布するときに区というか班って言いますか要望があったらその説明がてら皆さんと話をしていきたいと。そういうことによって、この防災マップを活用していきたいというところまでの返事はいただいでいます。

○住民 そういうような文書来てます、我々にも。それを受けてお願いするということをしてるんですけど。だからこっち側の問題だと思います。

○松岡副議長 ありがとうございます。そのほかございませんでしょうか。何でも結構です。

○住民 ただいま何でもいいというお話がありましたので話させていただきます。まず、文化面のことでお願いしたいと思うのですが、中石美術館をつくられました。中石さん、その人が公開する場所どこかいいところないだろうかということいろいろ検討されましたら、この湯梨浜町に目を付けられてここが環境的にも一番いいなということで、ここに惚れ込んで国信に美術館の拠点をつくられたわけです。公開は1回されたんですが、貴重な美術品を自分だけで懐の中にしまい込むのではなくして、皆さんに見ていただいで地域の文化を高めていただこうという考えのもとに公開されたわけです。

ところが、行政側がなかなか動いていただけないということでした。なかには議員さんが直接おいでになり奥さんと一緒に来られて受付をされたり見学者の接待をされたりというようなことで、一部の議員さんだけはそんなことされたんですけど、ほかの人は全然名

簿にも載っていませんでした。そういうことで行政側に探されたわけですが、でもあまり熱心な協力が無いということで。その方は高齢であって生活に非常に困っておられる。周辺に買い物のできる場所もないので、結局、地元の倉吉のほうが生活しやすいということで住居を倉吉に移されちゃったわけです。収蔵品はそのまま国信にあるわけです。ですから、収蔵庫、展示場を新しく新設されて2つになったわけです。そういうことで何とかしたい、何とかしたいって言うておられるんですけども、なかなか受けて応援していただく人がないということを今もって非常に残念がっておられるわけです。そのことを私は感じておりますので一言申し上げさせていただきました。

次に、伝統芸能ということで話させていただきます。東郷中学校が閉校されるにあたりまして中学校の閉校記念誌の中に一言書かせていただきましたけども、私は浪人踊りに携わってるものですので、今まで中学校は積極的に伝統芸能ということで浪人踊りを中心にして、そのほか昔からある伝統芸能を積極的に取り組んで生徒さん方に覚えていただいて、文化祭で発表するという形を毎年とっておられたんです。私が心配したのは、もしも合併するということになれば、そういう考え方が薄れてしまって、しまいには無くなってしまふのではないだろうかということを心配しまして、そのことを記念誌に書いておきました。

その後、私の心配通り合併してから水郷祭がその後来ましたけどもなんら動きはないし、そんなことで絶えてしまいそうな気がしました。私は仕方がないので地元の長和田の部落の子どもたちに話しかけて、水郷祭にも参加していただくことになったわけですが、そういう教育面のことももう少し考えていただければなと思うわけです。

北条小学校とか上北条小学校なんかは地域の昔話、地域の昔の出来事を学ぶということを毎年やっておられるわけです。私は倉吉民話の会に入っておりますので、毎年小学校に行って地元の民話、伝説類を話させていただくとるわけです。そのこともあってよその学校ではそういうふうに取り組んでおられるけども、東郷小学校では全然そのことはありません。幸いに中学生はその取り組みをしておられるのは私も加わっておりますが、そんなことをですね、何とか復活というか強力に進めていただければなと気がするわけです。文化の推進です。

もう一つは、最後に団地があちこちできるような話を先方説明されたわけですが、でも、団地に入られた方からこういう意見を聞いとります。団地に入るのはいいけども入ったときはそれでよかったけど、だんだん生活に慣れてくるとちょっと何か仕事をしたい、ちょっとの時間家におるときに、ちょっと時間があればなんとか動きたいということで貸農園

でもしてもらえんかどうかと言われた人があるんです。ですから、貸農園と団地とタイアップすればまた効果が上がるのではないだろうかと思はるわけではなす。

○入江議長　まずは最後のほうからいきます。農園の話ですけれども、町内には何か所か貸農園的なものを町もあつせんっていいすかしてありますので、その団地の近いところからっていうことからするとそれは難しいかもわかりませんが、どこかに移動をかけてでもそういう農作業がやりたいということであるならば、それは問い合わせただけで空いてるところはあるんじゃないかと思はるすので、それはお願いしたいと思はるす。

それから伝統芸能については、今回東郷中学校と北溟中学校が合併してこの4月から湯梨浜中学校になりました。そのときのいろんな懸案の中にこの伝統文化、特に東郷地域にある伝統文化の継承ということは、テーマになってました。それについては、龍踊り、浪人踊り、九品山の中将姫ですか、のものについても継承していくような教育はしていかなくっちゃいけないと。それは、羽合の子がどうこうというのは難しいかもわかりませんが、東郷地域の子どもたちを中心にとすることは聞いとりますので、今、十分でないという御指摘もありましたから、その辺のことを問い合わせてみてどういう状況になつてるかというのは確認してみたいと思はるすし、ずっとある伝統芸能を次の世代につないでいくということは大事なことだと思はるすので、その辺の動きはしていきたく思はるす。

一番初めの中石さんの美術館の件については、以前から御指摘をいただいとります、何回かいただいとりますして、展示会するときに運搬もなかなか運搬費やなんかのことっていうのも何年か前に言われたことを覚えてあります。なかなか難しいところもあろうかなと思はるすけれども、今後県立美術館ができるということもあつたり、そういうこともありますし、その辺との連携がどうかなということもあります。その辺は所管の教育委員会を中心に中石さんの御意向もあると思はるすし、そういうことで連携なり協力ができるようなことがあつたら、町としてそこだけを美術館としてっていうのはなかなか今の現段階では難しいと思はるすけれども、何かせつかく所蔵されているものを皆さんに見てもらうというようなことっていうのは、何かの具合で連携すれば考えられらへんかなって私の中での考えですけれどもあらへんかなと思はるすので、その辺のことも確認もしてみたいなと思はるす。

○住民　ありがとうございます。

○松岡副議長　御意見ありがとうございました。

内容は次の項目のほう。議会、行政に対する意見、提言に入ってきておりますので意見交換を終了いたしまして、河田議会運営委員長にバトンタッチします。

○河田議会運営委員長 そうしますと、これから議会なり行政に対する意見、提言ということで特にテーマは設けておりません。皆さん普段感じておられること思っておられることございましたら何でも結構です。

○住民 2点ほどちょっとお聞きしたいです。1点は、以前県がつくりました鉢伏山の自然公園のことですが、管理は今どうなってるのでしょうか。

それから、もう1点はこれはちょっと難しいかもしれませんが、東郷川から水明荘にかけての湖岸の有効活用ということをお断りして思っているんですが、これは個人の所有地でどうにもならんかもしれませんが半世紀以上あのまま。今の現状そのまんまが…。不在地主というもんなんですけど何にも活用できない。これを行政でなんかできんもんでしょうか。その2点をお願いします。

○入江議長 まず1点目の鉢伏の公園の管理の件ですけれども、済みません、わかりませんし、知りません、私は。多分議員も知らないと思いますので、これはどうなっているかを調査してお返しをしたいと思います。

東郷川、護岸の有効活用ということですが、確かに言われるように民有地もありますので、なかなか難しいところがあるかと思えます。いつか、国交省とかが中心になって水辺の学校であったりだとかそういう整備事業っていうのがすごく流行ったといいますかやる事業があったときがありました。何か所かいろんなところの川で水に親しみ楽しむ水遊びをしたりだとか、ビオトープの部分をしたりだとかという部分があったときがありましたけれども、なかなか国交省ももうそういう事業はあんまりやれないじゃないかなと思います。これだけ全国的に災害が起こってくるとそちらに対する費用、強靱化の問題も含めて土手の補強であったりだとかそういうほうを強化していくんじゃないかと思えますので、ちょっと難しいのかもわかりませんが、とりあえずそういう提案があったんだけどどうなんだろうということは行政サイドにも問いかけてみたいと思います。

○住民 松崎駅前付近の今、県道拡幅工事をしてしておりますが、その付近の交通安全対策を要望します。

県道拡幅でカーブが直線化して見通しはよくなっているんですが、結果的に体感的ではありますけどスピードが上がっている感じがします。過去に松崎駅前の横断歩道付近で旭区民の交通事故が何件かあって、7年前には旭区民の死亡事故も起きてます。松崎駅から養生館、

水明荘に行かれる観光客も通ったり、以前も街路灯の件で要望は出したんですけど、ばにーにあたりに向けて観光客の方って最近外国人の方も多くなってきてるので、あの辺の事故のリスクは高くなってると感じますので、信号の設置等の交通安全対策を区としては要望します。

○入江議長 ありがとうございます。これは懸案になっとりましてカーブによって死亡事故もあったということで要望して県も整備を始めたということで、今年度ほぼ用買等ができて来年度で大体の工事が終わるんじゃないかと県からは聞いております。それに伴ってそれ以上の横断歩道の整備であったりとか、防護柵、そういうようなガードレールのなものとか、そういうようなことも一緒に提案はしときたいと思います。県道倉吉青谷線は我が町が通ってますので、うちが監事町になってますので町長が会長してるという形もありますし、年にそういうものの報告等、要望会もありますので、その辺以前に今言われたようなことを整備はいいんだけど、そういうことも含めて兼ね合わせて整備をしてほしいということを申し添えておきたいと思います。

○住民 ありがとうございます。

○河田議会運営委員長 ありがとうございます。そのほかございませんでしょうか。

○住民 湯梨浜町議会の特徴とか売りっていうのは何でしょうか。

○入江議長 合併してことしで15周年を迎えて、合併当時37名、3町村でいた議員。合併時に18人の定数でやりまして、次の4年後に1名減らして17名、その次の4後にいっきに5名減らして12名までしました。減らすことが全て良しとは決して思いませんけども、その当時皆の思いというのは町報等で議員報酬なんかも提示されてますので御承知だと思いますけども、若い人が議員一本で生活できるような状況っていうのはなかなか難しいということで、少なく減らすことによって少しでも湯梨浜町は上げてもいいんじゃないかなと。それで若い人の参加も促す必要があるということで5名減らして思いきってやりましたけども、実際から言うとスリムになって一人一人の担うところっていうのはすごくウイングが広がりました。いろんな委員会等も参加もすごくふえてますので一人一人がスキルをあげていろんな対応をしていかなくはないといけないということからすると、それはよかったなとは思ってます。個々がやはり勉強してその場でいろんな意見を述べることによって前に進めていくということは十分とは決して思いませんけども、できているんじゃないかなと思いますので、その辺は念頭に置きながら今後も活動していきたいと思えますし、どこの議会もある程度同じようなことはしておられますけども、どんどん出て

行って皆さんの意見もいただきながら進めていくということ。ただ、意見を聞くだけではいけないと思うので、それを集約してこういう方向がいいということを決めてスピード感をもって政策展開していかないと世の中がどんどん進んでいるのにいつまでも熟慮とか検討という期間だけを長くすれば決していいとは思ってませんので、それはある程度の検討期間というのは持ちながらもスピード感を持ってやっていくということを心掛けていきたいと考えてます。

○住民 期待しています。ぜひ頑張ってください。

○河田議会運営委員長 ありがとうございます。お時間もう少しあるようですがどうでしょうか。特にございませんか。

そうしましたら、私のほうから一言皆さんのほうへ御報告させていただきたいことがございます。

本年度、町内の河川の川刈りというのが一切行われませんでした。住民の方から区長さん、声を聞いとられる方もあるかもしれません。実は、私の家に一枚の投書のハガキが届きました。10月の下旬でした。例年8月にはきれいに川が刈ってあるのにことしは川刈りきれんでしょうか、どうなってるだろうかというようなことで、匿名でしたのでその方に直接御返事をお返しできませんでしたので、役場のほうで副町長と建設水道課長と一緒に相談してもらいまして、こういった投書のハガキが来たんですけどなんとか住民の方に周知できる方法はないかということで早速対応してもらったのが建設水道課から区長の皆さん、川刈りができてない説明の文書が届いてませんか。といいますのが東郷川、藤津川、羽衣石川は2級河川ということになりますので、こちらは県の管理です。それ以外の小さい水路ですとか河川が町の管理ということになってくると思うんですが、まずその大きな川が去年から湯梨浜町内もすごく台風大水であちこち災害が出たのは皆さん御存知かと思います。その工事がことしもずっと引き続き行われておって、県のほうにその草を刈る予算が全くなかったという説明でした。その旨の説明の文書を区長さんへお届けさせてもらったと建設水道課のほうは申しておりました。住民の方からそういった問い合わせがあればお答えしていただきたいという形です。まだ、いつ草が刈れるような予算がつくのかということが今の時点でわからないということであるようです。東郷川、今、養生館の前のほう川底を土砂あげておりますが、川底掘削ということで草刈り自体はできませんけど、溜まった土砂を年次更新であげていくということの返事はいただいているようですので、そういったことで何年かかけて川底をずっとさらえていくというような予定のよ

うです。

あとは、町のほうにもなかなか予算がないということですが行政の管理する河川はなるべく草刈りとかいったことをこちらとしても要望していきたいと思っております。全国的にもすごく大水が出て河川が氾濫ということ鳥取県は幸いあんまり大きな特に湯梨浜のほうはそういった河川の氾濫ということはないんですけど、いつ起こるとも限りませんのでまた町、県に要望はしていきたいと思しますので、もし住民の方からそういった「何で草刈りがしてないだろうか」というような問い合わせがありましたら、そういった状況でいつ草刈りが再開できるかわからんような状態であるというような御説明をお願いしたいと思いますのでよろしくをお願いします。

あと皆さんのほうで特に何かございませんでしたら、お時間もう少しありますが閉会させていただきますてもよろしいでしょうか。

本日は貴重な御意見本当にたくさんありがとうございました。持ち帰って検討できるものは検討させていただきます。行政に届けれるものは届けていきたいと思えます。追ってまた議会だより等通じて御返事等ができればということで進めさせていただきますので、本日は貴重な御意見本当にありがとうございました。

そうしますと、閉会に際しまして松岡副議長が御挨拶をいたします。

○松岡副議長 皆様方にはお忙しい中、そして昼間のお仕事でお疲れの中、お集まりいただきまして長時間に渡りまして貴重な御意見、御提言をいただきましてありがとうございました。いただきました内容については持ち帰りまして検討させていただきたいと思えます。

季節柄、寒くなって参りましたので風邪など引かれないように注意をお願いしますと、いうことを申し上げて、閉会の御挨拶にかえさせていただきます。

きょうはどうもありがとうございました。